

科目名	RTW技術	整理番号	
学科	ファッションクリエイター夜間学科	期	通年
コース	ファッションクリエイター夜間コースデザイン専攻		夜間
学年	3年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	150	作成者	酒井知可子

【科目の到達目標】

既製服のデザイン、縫製の一貫した知識と技術を持った人材の育成。

【科目の概要】

素材の多様化、縫製機器の発達に伴い、素材に応じた縫製方法、工程を分析し作品を仕上げることによって既製服縫製のテクニックの習得を目指す。

デザイン、製図、シルエットチェック、仕様書、工業用パターン作成、縫製の実習。

【授業計画】

75分/コマ		前期	後期
1・2	テーラードジャケット製図		31・32 子供服(又は外部販売企画)
3・4	テーラードジャケット裁断		33・34 ↓
5・6	テーラードジャケット縫製		35・36 ↓
7・8	↓		37・38 ↓
9・10	↓		39・40 創作デザインドレス
11・12	↓		41・42 (上田学園コレクション作品振替)
13・14	↓		43・44 ↓
15・16	脇ゴムスカート		45・46 ↓
17・18	↓		47・48 ↓
19・20	↓		49・50 ↓
21・22	↓		51・52 ↓
23・24	牛革のスカート(その他)		53・54 ↓
25・26	↓		55・56 ↓
27・28	↓		57・58 ↓
29・30	提出 試験		59・60 ↓
			61・62 ↓
			63・64 ↓
			65・66 ↓
			67・68 ↓
			69・70 ↓
			71・72 ↓
			73・74 ↓
			75・76 ↓
			77・78 ↓
			79・80 ↓
			81・82 ↓
			83・84 ↓
			85・86 ↓
			87・88 まとめ
			89・90 試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『ジャケット』『スカート』『ワンピース』『縫い方全書』『洋裁』 上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

筆記用具、洋裁道具一式、製図用具一式

科目名	クリエイションテクニック	整理番号	
学科	ファッションクリエイター夜間学科	期	前期
コース	ファッションクリエイター夜間コースデザイン専攻		夜間
学年	3年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	50	作成者	酒井知可子

【科目の到達目標】

クリエイションに必要なクチュールの要素のある繊細な素材の扱い方、工業用の作品へのデザインとして取り入れ方などを視野に入れて部分縫いで習得。

【科目の概要】

繊細な素材にも対応出来た上で、作品としてデザインに取り入れ、効率よく製作する方法を習得。

【授業計画】

75分/コマ

- 1・2 就職用作品(セットアップ)製図
- 3・4 就職用作品 裁断
- 5・6 就職用作品 縫製
- 7・8 ↓
- 9・10 ↓
- 11・12 ↓
- 13・14 ↓
- 15・16 チュールレース・ケミカルレースの部分縫い
- 17・18 ↓
- 19・20 ↓
- 21・22 薄物始末の部分縫い
- 23・24 ↓
- 25・26 ベルベットの部分縫い
- 27・28 ↓
- 29・30 まとめ、試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

配布プリント、『縫い方全書』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

洋裁道具一式・製図用具一式

科目名	パターンメイキングⅢ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター夜間学科	期	通年
コース	ファッションクリエイター夜間コースデザイン専攻		夜間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	100	作成者	上田安子パターン担当

【科目の到達目標】

基本パターンから各種デザインパターンへの理論的な展開方法を学び、工業用パターンの作成までを修得。
女子衣料の規格サイズの理解。既製服のサイズ展開の基本知識を養う

【科目の概要】

ファッション産業において海外に生産を移行している時代、オリジナルデザイン、シルエットを表現できる技術は、確かなパターン力によるところが大きい。本授業では基本パターンの製図からトワールチェックし工業用パターンを作成。各種デザインパターンへ理論的に展開トワールチェック後、パターン作成まで。基本のアイテムのサイズ展開の方法を修得する。

【授業計画】 75分/コマ	前期		後期
1・2	概論 工業用パターンの知識 テーラードJK作図復習	31・32	グレーディング 概論 タイトスカート
3・4	ジャケット原型(テーラードカラー) 作図 パターン作成トワール組み立てチェック	33・34	身頃 袖
5・6	表襟の展開、見返しの展開 裏地の作成方法 工業用パターン	35・36	↓
7・8	ゴージダーツⅡ種	37・38	メンズジャケット 作図
9・10	↓	39・40	↓
11・12	↓	41・42	↓ パターン作成
13・14	ダブル打合わせピークドラペルジャケット 基本からの展開	43・44	ラグランコート 作図、トワール組立て
15・16	↓	45・46	パターン作成
17・18	↓	47・48	↓
19・20	ショールカラージャケットへ展開 基本からの展開パターン作成、見返し作成	49・50	↓
21・22	↓	51・52	船形袖のコート 作図 トワール組
23・24	↓	53・54	↓
25・26	ブラウス 作図、トワール組立て	55・56	↓
27・28	↓	57・58	工業用パターン作成
29・30	前期試験	59・60	後期試験 パターン作成

【成績評価方法】

課題作品評価 60% 期末試験 30 % 授業態度 10 %
以上を指導要項の認定基準に基づき総合的に評価する

【教科書・参考書】

オリジナルプリント
山路俊美 『紳士服製図・型紙の作り方』 上田安子服飾専門学校

【教材・教具】

実寸製図用具・トワール(デザインに合わせて的確な厚さの物)・
シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	ファッションドローイング&ファッションデザイン論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター夜間学科	期	通年
コース	ファッションクリエイター夜間コースデザイン専攻		夜間
学年	3年	授業形態	講義25% 実習75%
時間数	100	作成者	佐山孝典 小川雄士

【科目の到達目標】

一年間終了時にアパレル企業やアウトクチュール業界で即戦力となるドローイング表現が出来る事日々の学生生活、及び社会人になった際に必要な知識、メンタル、意識力を習得する。

また、コンピュータを使ったデザイン画、ポートフォリオ等を作成できる。

【科目の概要】

ファッション界の第一線で活躍する為に画力・表現力の向上を目的とし、技術 & 感性を磨く。

一般の画材道具の他、学生の感覚を磨く為に道具や意識を変え、長所を伸ばし短所を無くす授業を展開。

コンピュータを使ったデザイン画、ポートフォリオ等を作成できる。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期	
1	授業概要説明	31	選択授業①デザイン画
2	アパレル業界とファッション産業の現状	32	
3	PCで基本ヌードボディ、ハンイラ作成	33	選択授業②デザイン画
4	基本アイテム、着装画を描画	34	
5	着装画 手描きドローイング+PCで着色	35	選択授業③デザイン画 & プレゼン
6	↓	36	
7	プレタポルテ展示会 ポートフォリオ作成	37	SNSを活用した販促知識 & 応用
8	イラストレーター、フォトショップ基礎	38	
9	プレタポルテ展示会 ポートフォリオ作成	39	現代トレンドとファッション展望
10	イラストレーター、フォトショップ基礎	40	
11	デザインの基礎知識 1	41	企業・起業の心得 裏話 相談
12	ファッションフォトとアート	42	
13	デザインの基礎知識 2	43	絵と製作をリンクさせた技術の取得①
14	建築・インテリアとプロダクトデザイン	44	
15	就活用 企画書作成1	45	絵と製作をリンクさせた技術の取得②
16	↓	46	
17	就活用 企画書作成2	47	道具 手法 感覚を変化させたデザイン画
18	↓	48	
19	就活用 企画書作成3	49	自分のデザインを確立させる
20	↓	50	
21	企画の組み立て方とデザイン演習	51	ファッション雑学・意識改革
22	↓	52	
23	上田学園コレクション 企画・デザイン1	53	デジタルとアナログの融合
24	↓	54	
25	上田学園コレクション 企画・デザイン2	55	後期の復習・課題確認・相談
26	↓	56	
27	上田学園コレクション 企画・デザイン3	57	後期テスト準備
28	↓	58	
29	まとめ	59	後期試験
30	前期試験	60	

【成績評価方法】

提出物評価75% テスト20% 授業態度5%

(+@ 先生やクラスメイトとのコミュニケーション力・プレゼンテーション力など)

【教科書・参考書】 『FAHION』Karen Homer 2018 Quattro Publishing 『ITEMS:Is Fashion Modern ?』2017MoMA

立嶋滋樹著『Creation Drawing』、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社

NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』 小川雄士著 オリジナルテキスト その他

【教材・教具】

筆記用具、ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

使い慣れた道具の他に、普段画材道具として使わない生活雑貨等を使用した授業も展開

科目名	商品企画	整理番号	
学科	ファッションクリエイター夜間学科	期	後期
コース	ファッションクリエイター夜間コースデザイン専攻		夜間
学年	3年	授業形態	講義 20% 演習 80%
時間数	50	作成者	野田光晴

【科目の到達目標】

現場の内容を明確に理解し作業ができる

【科目の概要】

アパレルの生産から店頭までを考えたマーチャンダイジングとマーケティングを修得

【授業計画】

75分/コマ

- 1・2 一般アパレル業界の解説
- 3・4 ブランディング①コンセプトとターゲット
- 5・6 ブランディング②シーズンテーマとMD週
- 7・8 ブランディング③アイテムの構成
- 9・10 ブランディング④ブランド発信の重要性
- 11・12 ブランディング⑤プレゼンテーション
- 13・14 計数①売り場の計数
- 15・16 計数②MDの計数
- 17・18 シーズン企画①各月テーマとターゲット
- 19・20 シーズン企画②アイテム構成
- 21・22 シーズン企画③各月売り上げ設定
- 23・24 シーズン企画④プレゼンテーション
- 25・26 期中企画①リサーチ 追加企画
- 27・28 期中企画②売上からの提案
- 29・30 期末テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	ファッションビジネス論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター夜間学科	期	前期14回
コース	ファッションクリエイター夜間コースデザイン専攻		夜間
学年	3年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	23	作成者	榮 和代

【科目の到達目標】

アパレル業界で役立つ専門的なビジネス知識の構築。

【科目の概要】

アパレル業界に必要なキーワードとファッションの流れを解説。

ファッション業界のしくみを知り、商品企画から生産、流通、販売促進にいたる専門知識を講義、映像解説により

【授業計画】 75分/コマ

- 1 繊維ファッション産業の流れ
- 2 ファッションビジネスの最近の傾向
- 3 アパレル企業の概要
- 4 小売企業 百貨店、量販店、専門店の概要
- 5 マーケティングの基礎知識
- 6 マーケティングの分類方法
- 7 ファッションマーチャンダイジングの基礎
- 8 アパレル企業の商品化計画、小売企業の品揃え計画
- 9 小テスト
- 10 ファッション流通、
- 11 アパレルメーカーと小売企業の取引
- 12 アパレル企業の計数知識
- 13 売上高、粗利益、目標達成率、前年対比、商品回転率、坪効率、客単価
- 14 テスト

【成績評価方法】

課題評価50% 試験評価40% 授業研究態度10%

【教科書・参考書】

書籍『よくわかるアパレル業界』

書籍『ファッションビジネスⅠ』

【教材・教具】

配布プリント

科目名	コンピュータ演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター夜間学科	期	前期
コース	ファッションクリエイター夜間コースデザイン専攻		夜間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	27	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用し、仕様書などに必要なツールの修得する。
指示書などに必要なハンガーイラスト、指示イラストがツールを使用して作成できる。
アパレルCADを使用し、理解し、ブラウスパターンを作成できる。

【科目の概要】

アパレルCAD(Computer Aided Design)とはコンピュータによる「パターン製作」などを行う機械、あるいはシステムのことを言い、時代に即した「アパレル生産」を極めるためには不可欠なものである。パタンナーはそのシステムを理解し、利用できる技術をも身につけなければならない。アパレルCADのソフトを理解し、パターンを引き、それに伴う仕様書などの書類を作成するための利用手順を修得する。

【授業計画】75/コマ	前期	【授業計画】75/コマ	後期
1	就活用自己PR表作成		
2	ロゴマークを作成 (Illustrator応用)		
3	・ブラウス (CAD)		
4	ブラウス縫製仕様書作成 (ハンガーイラスト応用)		
5	ブラウスパターン作成		
6	工業用パターン作成		
7	製図 (表地・芯地)		
8	パターンチェック		
9	情報入力、地の目入力、コメント入力		
10	縫代付け、マーキング		
11	縫製指示書作成 (Illustrator応用)		
12			
13			
14			
15	√		
16	まとめ		

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

コンピュータ演習 * アパレルCAD *

【教材・教具】

プリント配布 メモリフラッシュ 筆記用具